## 費用対効果分析に関する説明資料

## 1.総費用総便益比の算定

	区分		定式	数值	備考	
総費用(現在価値化)		=	+	108,128,882 千円		
	当該事業による費用			15,077,238 千円		
	その他費用			93,051,644 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費	
評価期間				54 年	当該事業の工事期間 + 40年	
総便益額(現在価値化)				560,352,223 千円		
糸	<sup>総</sup> 費用総便益比	=	÷	5.18		

## 2.年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	2,790,542 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物:水稲、大豆、大麦
営農経費節減効果	79,398 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物:水稲、大豆、なす、さといも
維持管理費節減効果	203,517 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設:用水路、排水路
災害防止効果	22,746,764 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による被害額が増減する効果 対象施設:農業関連資産、公共資産、一般資産
景観・環境保全効果	170,619 千円	周辺の景観や生態系に配慮した施設を整備すること により発現する効果
計	25,583,806 千円	